

# 家庭科教育研究所 第9回勉強会のお知らせ

今回は、環境哲学、合意形成、対話教育をご専門とする豊田光世先生をお招きし、学校教育に「子どもの哲学」を取り入れて、対話を通して子どもが問い深める力を高める試みについてお話しいただきます。

豊田先生には、今年の7月に開催された第67回日本家庭科教育学会大会シンポジウムでも「価値を探究する「子どもの哲学」の教育論から多様性の時代の家庭科教育を考える」というタイトルでご講演いただきました。その内容は、子どもたちが対話を通して物事の本質を深く掘り下げながら、共に考えるコミュニティを学級の中に育てていく取り組みとしてたいへん示唆深いものでした。是非とも研究所でもお話しいただきたいとお願いし、今回の勉強会が実現しました。貴重な学び合いの機会になると思います。みなさまのご参加をお待ちしています。

- ▶ 日時： 2024年10月12日（土）16:00～17:30
- ▶ 場所： オンライン
- ▶ 講師： 豊田光世氏（新潟大学佐渡自然共生科学センター教授）
- ▶ 題目： 家庭科教育に「子どもの哲学」を活かす
- ▶ 要旨： 「子どもの哲学」は、対話を通して問い深める力を高めることを目的とした教育で、「主体的・対話的で深い学び」が重要視されるようになった昨今の日本の学校教育において、そうした学びを進めていくための具体的な手法として着目されています。さまざまな教科での応用が試みられていますが、市民としての生き方を身近な暮らしのレベルから考えていく家庭科とも親和性が高いと考えられます。子どもの哲学では、子どもたちが発する「問い」をもとに対話を展開しますが、家庭科の授業を通して彼らはどのような問いを見出すのでしょうか。具体的な実践例をもとに、家庭科における子どもの哲学の可能性を検討します。

会員のみなさまには、開催日の数日前に zoom 情報をお知らせします。参加ご希望の方は、そこに示した URL からお入りください。後日、動画配信をします。当日の参加が難しく、ご興味のある方はそちらを視聴してください。



## 豊田 光世（とよだ みつよ）

新潟大学 佐渡自然共生科学センター教授。専門分野：環境哲学、合意形成学、環境教育、対話教育。東京工業大学大学院社会理工学研究科博士後期課程修了、博士（学術）。2004年よりハワイ大学大学院でp4c（子どもの哲学）の教育・研究に従事。帰国後、地域社会で対話の場のデザインを展開する傍ら、日本の教育現場においてp4cを生かした授業づくりを支援。兵庫県立大学環境人間学部講師、東京工業大学グローバルリーダー教育院特任准教授を経て、2015年9月より現職。主な著書として『p4cの授業デザイン：共に考える探究と対話の時間の作り方』（明治図書、2020）。